

神様に用いられる人 (士師 11:1-3)

私たちに許されている人生は一度限りです。世の中は、人生の答えを知らず、苦しんでさまよっています。その世の中で生きている信者である私たちは、「私は神様に用いられる人なのか」と、まごころから自分に問いかけるべきです。この質問によって人生の転換点を見つけようにしましょう。今日の聖書箇所が登場するエフタは、神様に悪を行い危機に陥っていたイスラエルを助けた士師ですが、遊女の子どもで、本妻の子どもたちと同じ兄弟ではないといじめられて、家から追い出された人です。そのようなエフタが、イスラエルを助ける、神様に用いられる人になりました。このことから、**神様は人を用いられるとき、人の条件にこだわらない**ということメッセージとして握りましょう。

世の中は、人の条件を見て判断します。私たちはその判断に慣れているので、神様も、人を用いられるときに条件をご覧になると思っています。しかし、聖書のどこにもそのようなことは書いてありません。聖書で用いられた人々は、多様な人々でした。農夫、漁師、王、祭司の息子、羊飼ひ、遊女の息子など、さまざまで、出身も、男女もこだわらなして用いられました。**神様は職業、出身、性別にこだわらない方**です。アブラハムは、信仰の祖先と呼ばれていますが、偶像文化の中で偶像を作る人で、人間的にも、自分の身を守るために妻を売るような卑怯な人でした。モーセは、捨てられて拾われ、養子となった人です。王宮で王子として生活していたときは、用いられませんでした。すべてを失ってミデヤンの荒野で 80 歳の老人となって、妻の実家の世話になっていたとき用いられました。ダビデはおおいに用いられましたが、サムエルに油を注がれたとき、兄弟たちの中に呼ばれることもなく、羊の番で野原にいて、のけ者扱いをされていた人です。ペテロは田舎の中の田舎であるガリラヤ出身で、下っ端の仕事である漁師で、だれが見ても無学でした。パウロは、備えられた人でしたが、イエスを信じる人を迫害する先鋒に立っていた人です。このような人々を神様は用いられたのです。**神様に用い**



れた人の共通部分は、「**キリストの契約の人**」でした。神様が人を用いて、この世を生かされるときに用いられる条件は、ただひとつ「**キリストの契約がある**」ことだけです。生まれながらキリストの契約を教えられた人もいれば、不可抗力的恩寵によって、契約に追いやられた人もいます。

キリストの契約はなんですか。人は、罪を犯して、地獄に落ちるしかなく、滅びの運命に捕らわれてしまいました。そこで、女の子孫が蛇の頭を踏みくだき、身代りにへびにかかとをかみつかることによるのみ救われます。キリストを通してのみ救われるのです。キリストだけが、へびの頭を踏み砕くまことの王です。アブラハムは、召されたとき、神様が示す地に行くように言われました。それがカナン、つまり、キリストです。モーセは、犠牲のいけにえをささげることに気づきました。それがキリストです。ダビデは、契約の箱を愛し、それを置く神殿にこだわりました。それがキリストです。実際に世にあらわれた十字架のイエスがキリストです。ペテロはイエスがキリストだと告白し、パウロは、いままでのすべてをちりあくだと告白してキリストだけであり、キリスト・イエスの十字架以外は何にも知らないことにすると言いました(1コリント 2:2)。このように、用いられた人はキリストの契約を持っていました。

人間が抱えている罪は、神様に対する根本的な罪なので、絶対に解決不可能です。それゆえ、道は一本、キリストだけなのです。これがキリストの契約です。私たちがまだ罪人であったときに、あがないの死によって、身代りの恩寵によって助かるようになりました。いままでない神様からの法則「**信仰によって生きる**」のです。これが、キリストの契約です。その契約を神様が植え付けて用いられます。ですから、私たちはただ感謝するのみです。

イエス・キリストを信じる信者である者は、神様に用いられるしかありません。だれでもイエスの名を呼ぶ者は救われます(ローマ 10:11-13)。神が内に宿る神の神殿になりました(1コリント 3:16)。旧約時代には、契約は石の板に書かれていましたが、イ

スラエルは繰り返しその契約を破ったので、キリストが来られたら、石の板ではなく、信じる者の心を書きしるすとエレミヤを通して言われました(エレミヤ 31:33)。聖霊が宿る神の神殿になるということです。イエスを信じる者は、だれでも、心に神様のみことばが書きしるされて、聖霊によって証印を押されたと言われています(エペソ 1:13)。心の板にキリストの福音が書きしるされました(2コリント 3:3)。これが自分のことだと確認しましょう。イエスを信じている人は、イエスがキリストであるゆえに、聖霊が宿り、心に書きしるされ、神様の恵みを忘れることができなくなりました。すべてのことを満たす方が満ち満ちている、キリストのからだなる教会になったのです(エペソ 1:23)。イエスを信じることにより、内にキリストがおられるので、キリストのいのちと力が暗やみの世に流れるようになります。エゼキエルが預言した、神殿からの水があふれ出し、すべてを覆うようになることの成就です。そのように用いられるしかない、新しく造り変えられた教会となった存在です。神の作品であり、良い行いのために造られました(エペソ 1:10)。それは、用いられるということです。確信を持って、認め、感謝しましょう。それゆえ、世の光(マタイ 5:14)、王である祭司(1ペテロ 2:9)、キリストの使節(2コリント 5:20)、イエスのかたち(ローマ 8:29)となっています。どんな人が用いられるのかという正しい知識を持って、古い枠に振り回されることがないようにしましょう。心から感激して認め、信じて告白するだけで、イエスが行われたこと、それ以上のことをする

ようになります(ヨハネ 14:12)。イエスがされたことは、悪霊を追い出し、新しいことばを語り、へびをもつかみ、毒を飲んで害を受けず、病気の人に手を置くといやされる(マルコ 16:17-18)という、世の中では絶対にできない、聖なることです。暗やみに神の国が臨むようにさせる手伝いをするのです。使徒 1:8、マタイ 28:16-20、弟子としなさいと言われました。そして、三位一体の神様のいのちが宿ることを解き明かし、その人の人生について教え、再臨までつながるようにさせるのです。

神様に用いられるしかない、信じて告白するだけで十分です。条件にこだわらないことを感謝して、答えがない世のために、絶対に必要なことのために、私を用いてくださいと祈りましょう。人間の条件で比較したり、なにかのせいにして、不平不満、言いわけにしないで、自分を条件なく祝福しましょう。**祝福された、用いられるしかない者だと、自分を祝福することが、信者がすること**です。そして、いま現在与えられている現場や才能に感謝しましょう。必ず用いるために許されたことです。用いられるタイミングのために準備しましょう。その準備が祈り、礼拝、訓練です。神様に用いられるあかし人となります。改めて自分に「用いられることができるのか」と問いかけて、用いられるしかない祝福の存在であり、イエスがキリストだという契約だけにこだわらるようにお祈りします。
(http://jremnant.com に音声と動画が出ています)

士師記 11:1-3 神様に用いられる人
なるほど/ 神様はこの世を愛して、人を用いて世を生かす方であり、その時その人の条件にこだわらず、キリストの契約のある人を用いられるので、イエス様を信じている信者は当然神様に用いられるしかない祝福の人である。
ならば/ 条件にこだわらない枠を捨て、条件で比較せず、条件に不満を持たず、信者である自分を祝福しよう。自分は祝福された人で、神様に用いられる人。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年9月15日)
1部礼拝 : 次世代を攻撃する悪い霊 (マタ 17:14-20)
サタンがもたらした暗やみ文化、偶像文化に陥って死んでゆく次世代を、ただキリストの霊的奥義を持って生かすことと教会に私の人生をかけるようにしていただき感謝します。いのちで働く永遠のこと、三位一体神様、天国の背景、地獄の背景、御使い、サタン、たましい、教会の祝福を見つけて味わいますように。神の子どもになった永遠の身分を持って、暗やみの勢力と世の中に勝つ信仰の人になりますように。神様が上から与える永遠の権威を持って、世の中とレムナントを生かすシステムを作る教会になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。
2部礼拝 : 全世界の次世代を生かさないといけない (マタ 18:1-10)
世界の次世代を生かす世界的な癒し学校、サミット学校が神様の絶対的なみこころであることを知って、今から契約を握って祈りながら作るようにしていただき感謝します。レムナントたちが集まる RUTC 運動を始めますように。このレムナントたちを育てて霊的サミット、学業サミット、文化サミットにするサミット運動をしますように。私たちが育てた次世代たちが王の前に行って答えを伝えて、世界福音化する Nobody 運動の契約を握りますように。237 万国レムナントを生かす癒し学校、サミット学校を立てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。